

第56回
市政世論調査
(概要版)



令和6年
府中市

< 目 次 >

府中市市政世論調査について	1
回答者の概要	2
【住み心地】について	3
■府中市は住みよいところだと感じるか	3
【住まいの環境】について	4
■身近な住まいの環境についての感想	4
【生活の満足度】について	5
■現在の生活にどの程度満足しているか	5
【定住意向】について	6
■今後も府中市に住み続けたいと思うか	6
【市政に関する関心度】について	7
■市政にどの程度関心を持っているか	7
【市への要望】について	8
■府中市に対しこれから特に力を入れてほしいこと	8
【行政情報の取得手段】について	10
■取得手段として活用しているものについて	10
■リニューアル後の広報ふちゅうとホームページについて	11
■広報ふちゅうの特集記事について	11
■ホームページから知りたい情報を探す方法について	12
■情報媒体の利用頻度について	12
【生物多様性地域戦略】について	13
■「第2次生物多様性地域戦略」についての認知度	13
■生物多様性や自然環境の保全につながる行動について	13
【市民協働の推進】について	14
■「社会貢献活動」への取組について	14
■「金銭的な社会貢献活動」について	14
■子ども（18歳未満）の頃に取り組んだ「社会貢献活動」について	15
【スポーツ・運動】について	16
■1年間に行ったスポーツや運動について	16
■1年間で観戦したことがある府中市を拠点に活動するトップチームについて	17
■スポーツに関するボランティア活動への関心度	17

■ 障害者スポーツ(パラスポーツ)との関わりについて	18
■ 郷土の森総合体育館移転予定の認知度	18
【生涯学習の取組】について	19
■ 「学び返し」という言葉の認知度	19
■ 「学び返し」を実践したことがあるかについて	19
■ 生涯学習センターの利用状況について	20
■ 市の生涯学習に関する情報の取得手段について	20
【ひきこもり】について	21
■ ひきこもりの状態にある身近な方について	21
■ 福祉総合相談窓口の認知度	21
■ ひきこもりに悩む方への支援	22
【インフラマネジメント】について	23
■ 「府中市インフラマネジメント計画(2018年度)」	
についての認知度	23
■ 道路等包括管理事業の内容についての理解度	23
■ 府中市道路管理センターについての認知度	24
■ 市が管理する道路等の管理状況の満足度	24
■ インフラ予算の考え方について	25
【中核市に関する関心度】について	26
■ 中核市のイメージについて	26
■ 府中市が中核市になってほしいと思うかについて	27
【障害者に対する差別・偏見】について	28
■ 障害者差別解消法についての認知度	28
■ 障害者差別の解消に向けた普及啓発の方法について	28

府中市市政世論調査について

府中市で、毎年実施してまいりました世論調査も、今回で第56回となります。

この世論調査は、市政に対するご意見・ご要望をお聞きし、諸施策に対する市民の皆様
の考えを把握することによって、今後の市政運営上の参考にさせていただくことを目的として
おります。

今回は市政全般のほか、「行政情報の取得手段」「生物多様性地域戦略」「市民協働
の推進」「スポーツ・運動」「生涯学習の取組」「ひきこもり」「インフラマネジメント」「中核市に
関する関心度」「障害者に対する差別・偏見」についてお聞きしました。

調査の方法

調査の地域	: 府中市全域
調査対象者	: 府中市在住の18歳以上の個人
調査数	: 1,500人
抽出方法	: 地点を用いた二段抽出法 (住民基本台帳の登録人口を11の地区に分け、その構成比によ り無作為に抽出する方法)
調査方法	: 郵送法(郵送配布、郵送回収・WEB併用回収)
調査期間	: 令和6年5月10日(金)～令和6年6月28日(金)
回収数(率)	: 821(54.7%)

調査の内容

- | | | |
|--------------|--------------|------------------|
| 1. 住み心地 | 6. 市への要望 | 11. 生涯学習の取組 |
| 2. 住まいの環境 | 7. 行政情報の取得手段 | 12. ひきこもり |
| 3. 生活の満足度 | 8. 生物多様性地域戦略 | 13. インフラマネジメント |
| 4. 定住意向 | 9. 市民協働の推進 | 14. 中核市に関する関心度 |
| 5. 市政に関する関心度 | 10. スポーツ・運動 | 15. 障害者に対する差別・偏見 |

注意事項 本書をご覧になる場合、次の点に注意してください。

- (1) 百分率(%)の計算は、小数点第2位を四捨五入して表示しています。
このため、単数回答(1つだけ選ぶ設問)に表示された百分率を足し合わせても100%に
ならない場合があります。また、複数回答(2つ以上選んでよい設問)の設問の場合、百分
率を足し合わせると100%を超える場合があります。
- (2) 図、表に表示された「n」は、各設問に対する回答者数を表します。
- (3) 本書は、各調査内容における主設問のみを抜粋掲載している概要版です。

回答者の概要

1. 性別

	回答者数(人)	構成比(%)
男性	361	44.0
女性	437	53.2
回答しない	14	1.7
(無回答)	9	1.1

2. 年齢

	回答者数(人)	構成比(%)
18～29歳	77	9.4
30～39歳	117	14.3
40～49歳	201	24.5
50～59歳	205	25.0
60～69歳	111	13.5
70歳以上	102	12.4
(無回答)	8	1.0

3. 未婚・既婚の別

	回答者数(人)	構成比(%)
未婚	178	21.7
既婚（離別・死別含む）	601	73.2
回答しない	16	1.9
(無回答)	26	3.2

4. 職業

	回答者数(人)	構成比(%)
事務職	130	15.8
専門・技術職	186	22.7
労務・サービス職	80	9.7
役員・管理職	64	7.8
商・工・サービス業	30	3.7
自由業	22	2.7
農林漁業	0	0.0
内職・パート・フリーター	117	14.3
主婦（家事専業）	96	11.7
学生	17	2.1
無職	67	8.2
(無回答)	12	1.5

5. ライフステージ

	回答者数(人)	構成比(%)
独身期	103	12.5
家族形成期	90	11.0
家族成長前期	80	9.7
家族成長後期・家族成熟期	172	21.0
高齢期	131	16.0
高齢者世帯	108	13.2
その他	119	14.5
(無回答)	18	2.2

6. 地区

地区名	総人口(人)	対象者数(人)	調査数(人)	回答者数(人)	回収率(%)	構成比(%)
紅葉丘文化センター	22,600	19,026	130	69	53.1	8.4
白糸台文化センター	30,531	26,167	177	88	49.7	10.7
押立文化センター	9,510	8,221	55	34	61.8	4.1
是政文化センター	23,664	20,126	135	67	49.6	8.2
住吉文化センター	26,967	22,851	155	90	58.1	11.0
片町文化センター	29,654	25,528	174	102	58.6	12.4
中央文化センター	43,768	37,239	252	141	56.0	17.2
新町文化センター	25,821	22,152	151	90	59.6	11.0
武蔵台文化センター	14,032	12,141	83	42	50.6	5.1
西府文化センター	19,219	15,987	109	58	53.2	7.1
四谷文化センター	14,175	11,629	79	40	50.6	4.9
計	259,941	221,067	1,500	821	54.7	100.0

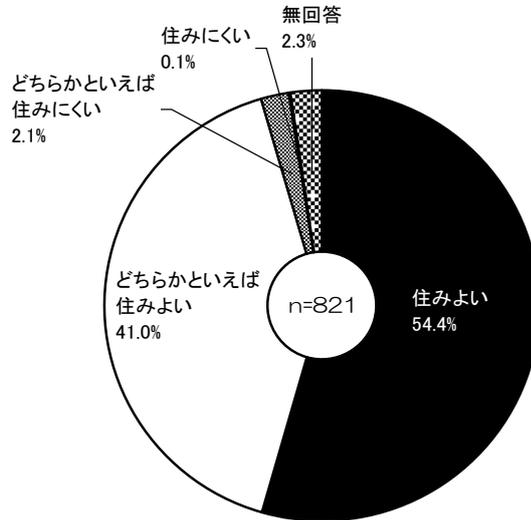
上記対象者は、令和6年4月1日現在で満18歳以上の人口である。

【住み心地】について

■ 府中市は住みよいところだと感じるか (n=821)

「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせると、9割半ばが『府中市は住みよい』と感じている。

図1 住み心地



「住みよい」(54.4%)と「どちらかといえば住みよい」(41.0%)を合わせた『住みよいと感じる』(95.4%)割合は、9割半ばとなっている。

また、「住みにくい」(0.1%)と「どちらかといえば住みにくい」(2.1%)を合わせた『住みにくいと感じる』割合は、2.2%となっている。

年代別では、『住みよいと感じる』割合は、「30～39歳」(97.5%)で最も高く、「40～49歳」(93.5%)が最も低くなっている。年度別にみると、9割台を維持している。

図2 住み心地(年代別)

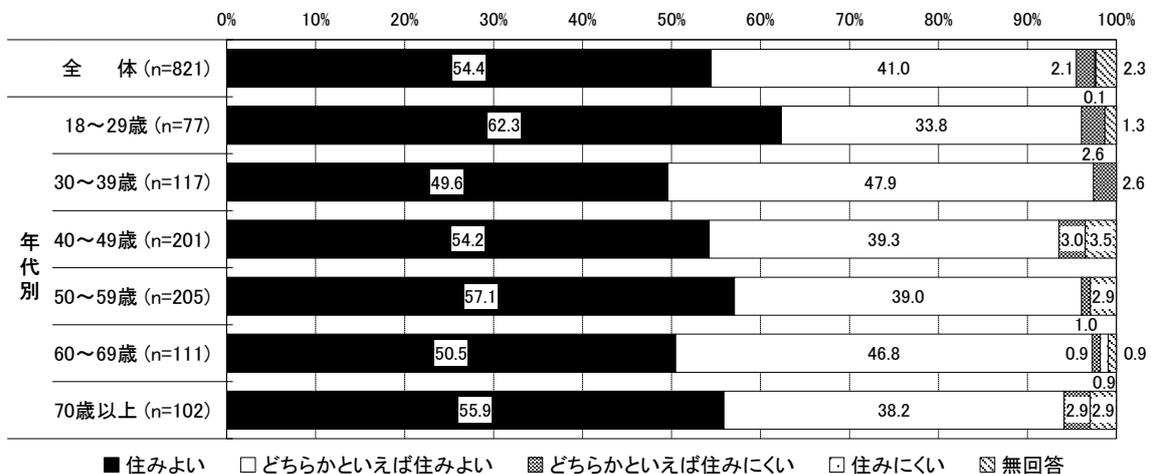
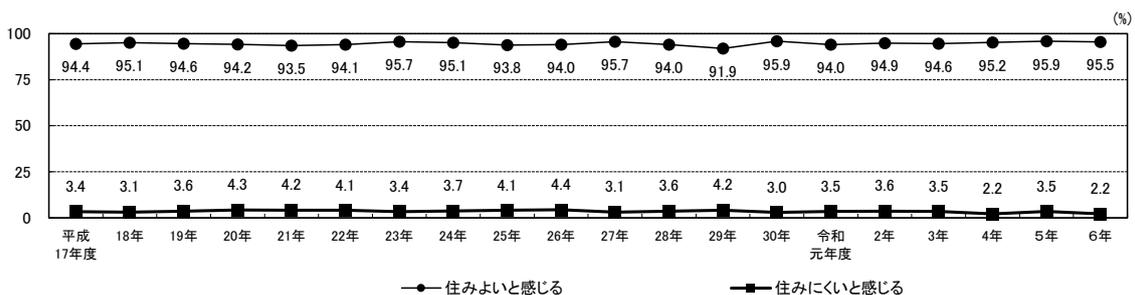


図3 住み心地(年度別)



【住まいの環境】について

■身近な住まいの環境についての感想 (n=821)

「非常によい」と「まあよい」を合わせた『よいと感じる』住まいの環境は、「緑の豊かさ」、「排水の便」、「風通し、日当たり」の順になっている。「あまりよくない」と「非常に悪い」を合わせた『よくない』と感じる住まいの環境は、「蚊やハエの発生の防止」、「騒音や振動の防止」、「交通安全対策」の順になっている。

図4 身近な住まいの環境についての感想

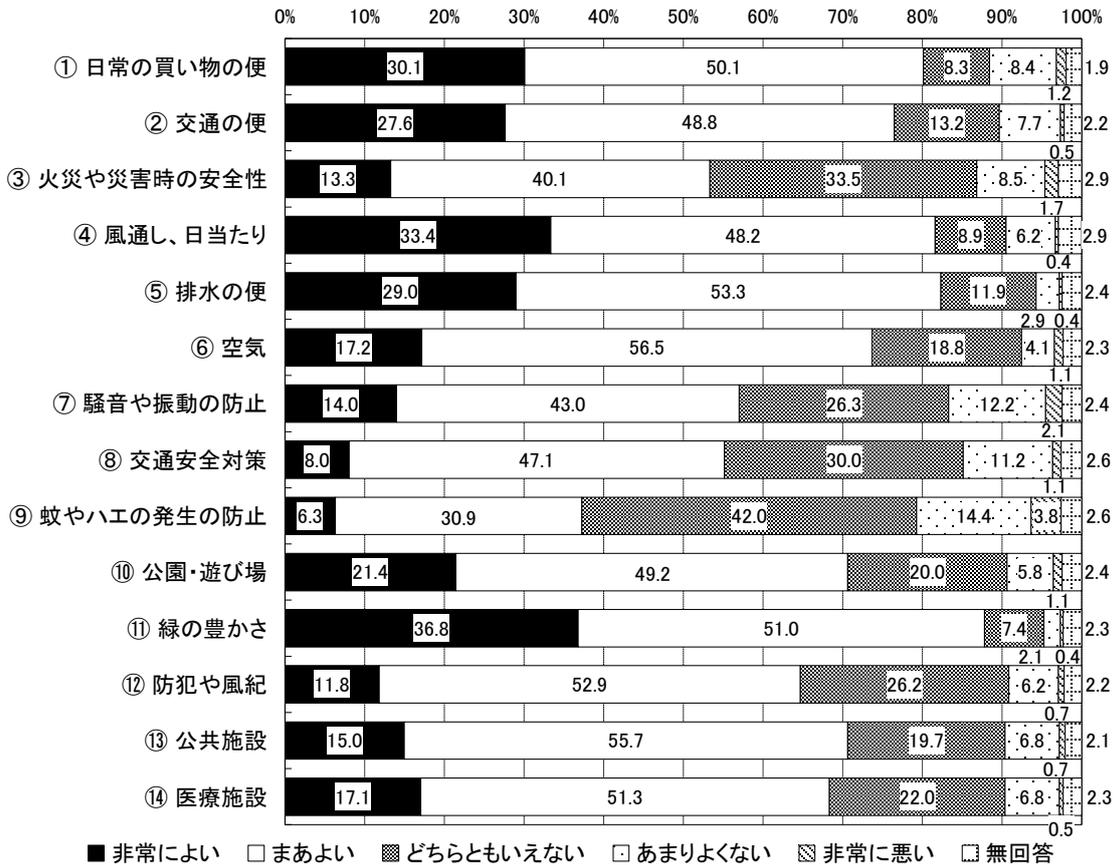


表1 『よい』と感じる割合の順

順位	住まいの環境	よいと感じる (%)
1位	⑪ 緑の豊かさ	87.8
2位	⑤ 排水の便	82.3
3位	④ 風通し、日当たり	81.6
4位	① 日常の買い物	80.2
5位	② 交通の便	76.4
6位	⑥ 空気	73.7
7位	⑬ 公共施設	70.7
8位	⑩ 公園・遊び場	70.6
9位	⑭ 医療施設	68.4
10位	⑫ 防犯や風紀	64.7
11位	⑦ 騒音や振動の防止	57.0
12位	⑧ 交通安全対策	55.1
13位	③ 火災や災害時の安全性	53.4
14位	⑨ 蚊やハエの発生の防止	37.2

表2 『よくない』と感じる割合の順

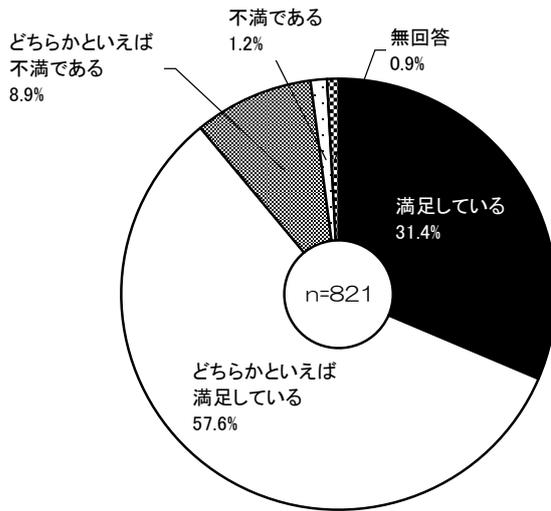
順位	住まいの環境	よくないと感じる (%)
1位	⑨ 蚊やハエの発生の防止	18.2
2位	⑦ 騒音や振動の防止	14.3
3位	⑧ 交通安全対策	12.3
4位	③ 火災や災害時の安全性	10.2
5位	① 日常の買い物	9.6
6位	② 交通の便	8.2
7位	⑬ 公共施設	7.5
8位	⑭ 医療施設	7.3
9位	⑫ 防犯や風紀	6.9
10位	⑩ 公園・遊び場	6.9
11位	④ 風通し、日当たり	6.6
12位	⑥ 空気	5.2
13位	⑤ 排水の便	3.3
14位	⑪ 緑の豊かさ	2.5

【生活の満足度】について

■ 現在の生活にどの程度満足しているか (n=821)

「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせると、約9割が『生活に満足している』と感じている。

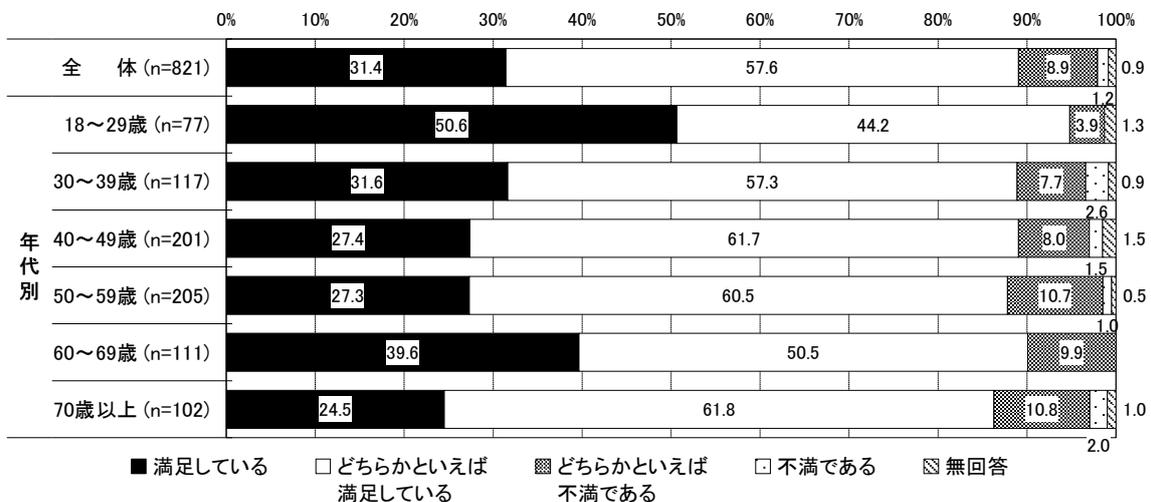
図5 生活の満足度



「満足している」(31.4%)と「どちらかといえば満足している」(57.6%)を合わせた『満足と感じている』(89.0%)割合は、9割近くとなっている。一方、「不満である」(1.2%)と「どちらかといえば不満である」(8.9%)を合わせた『不満と感じている』(10.1%)割合は、約1割となっている。

年代別では、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『生活に満足していると感じる』割合は、「18～29歳」(94.8%)が最も高く、「70歳以上」(86.3%)が最も低い。

図6 生活の満足度 (年代別)

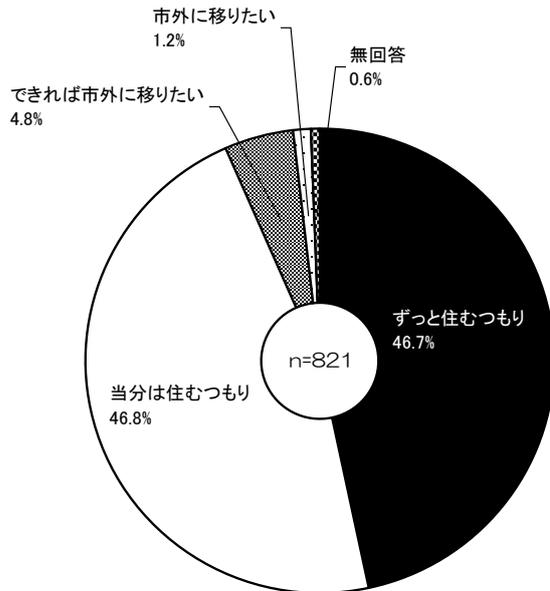


【定住意向】について

■ 今後も府中市に住み続けたいと思うか (n=821)

「ずっと住むつもり」と「当分は住むつもり」を合わせると、9割以上が『今後も府中市に住み続けたい』と感じている。

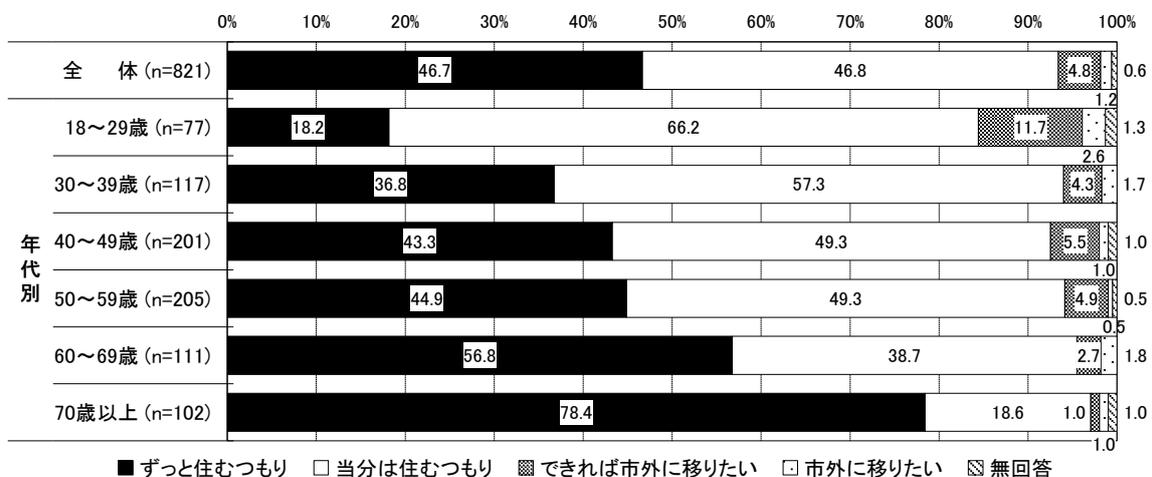
図7 定住意向



「ずっと住むつもり」(46.7%)と「当分は住むつもり」(46.8%)を合わせた『住み続けたいと感じている』(93.5%)割合は、9割を超えている。一方、「できれば市外に移りたい」(4.8%)と「市外に移りたい」(1.2%)を合わせた『市外に移りたいと感じている』割合は、6.0%となっている。

年代別では、「ずっと住むつもり」と「当分は住むつもり」を合わせた『住み続けたいと感じている』割合は、「70歳以上」(97.0%)が最も高く、「18～29歳」(84.4%)が最も低い。

図8 定住意向 (年代別)

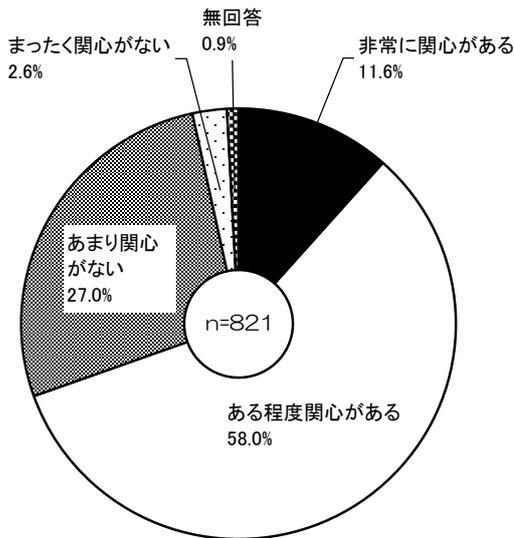


【市政に関する関心度】について

■ 市政にどの程度関心を持っているか (n=821)

「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせると、7割近くが市政に関心を持っている。

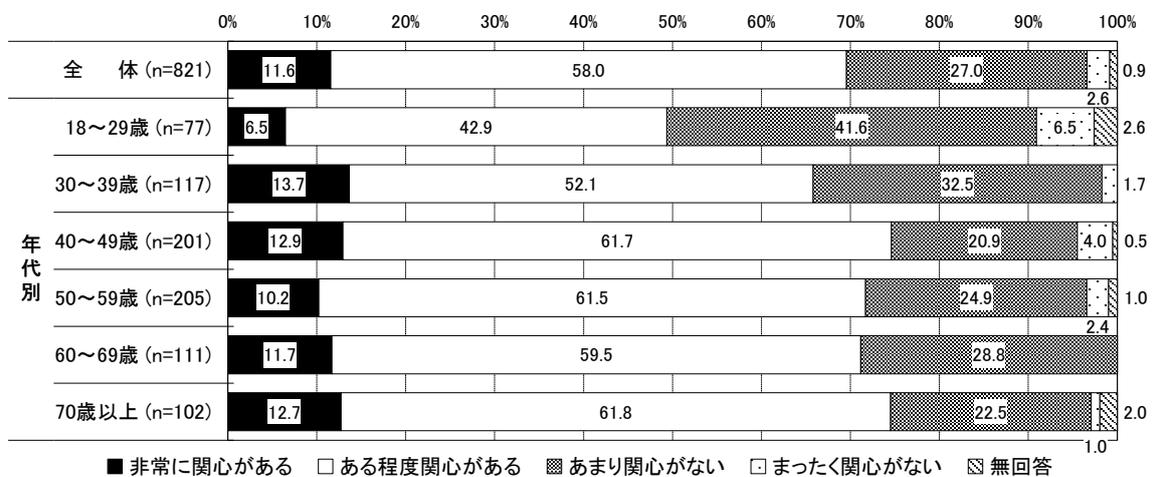
図9 市政に関する関心度



「非常に関心がある」(11.6%)と「ある程度関心がある」(58.0%)を合わせた『市政に関心がある』(69.6%)割合は、7割近くとなっている。一方、「まったく関心がない」(2.6%)と「あまり関心がない」(27.0%)を合わせた『市政に関心がない』(29.6%)割合は、約3割となっている。

年代別では、「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた『市政に関心がある』割合は、「40～49歳」(74.6%)が最も高く、「18～29歳」(49.4%)が最も低い。

図10 市政に関する関心度(年代別)

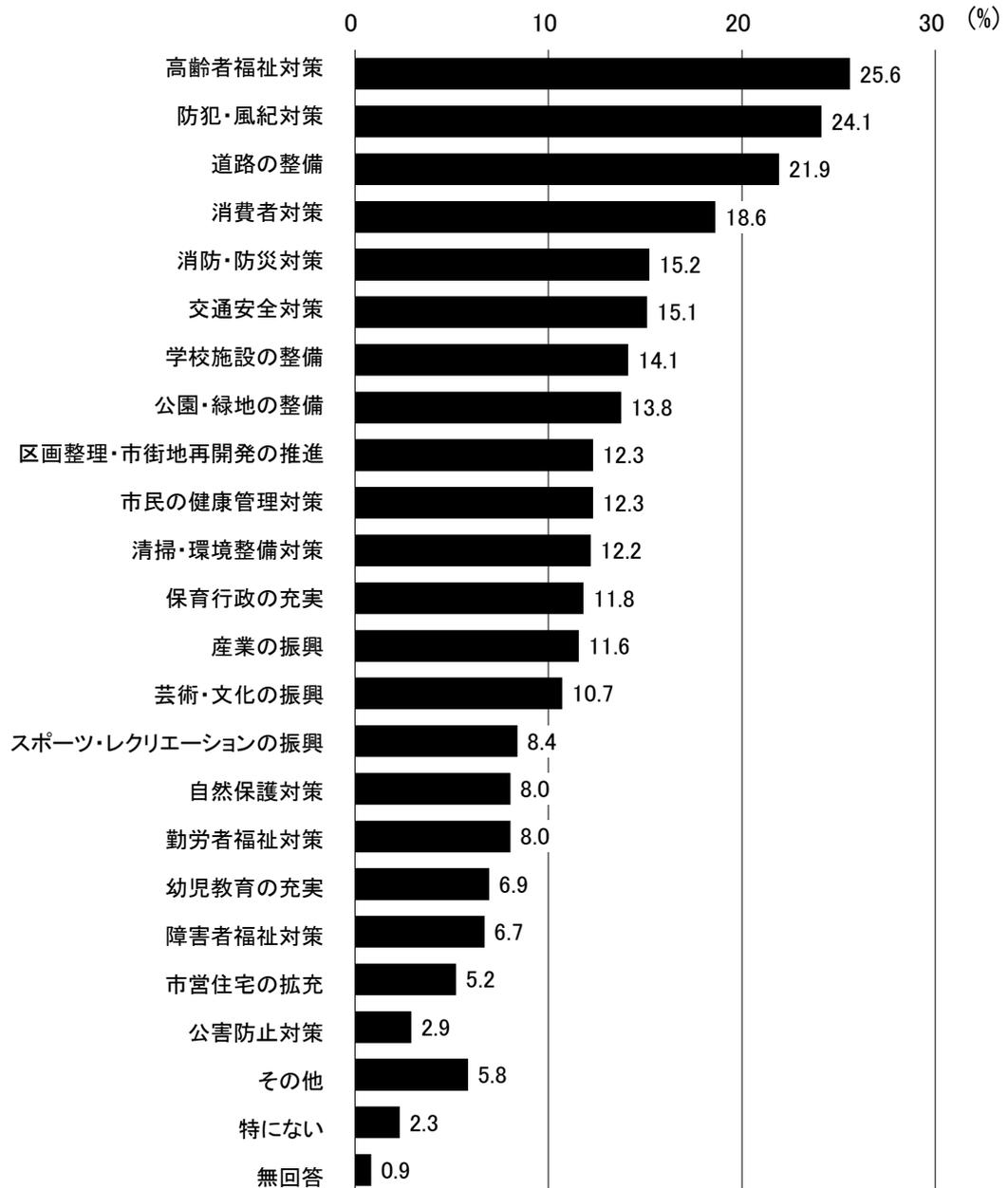


【市への要望】について

■ 府中市に対しこれから特に力を入れてほしいこと (n=821：複数回答)

市への要望は、「高齢者福祉対策」(25.6%)が最も高く、「防犯・風紀対策」(24.1%)、「道路の整備」(21.9%)、「消費者対策」(18.6%)の順となっている。

図 11 市への要望

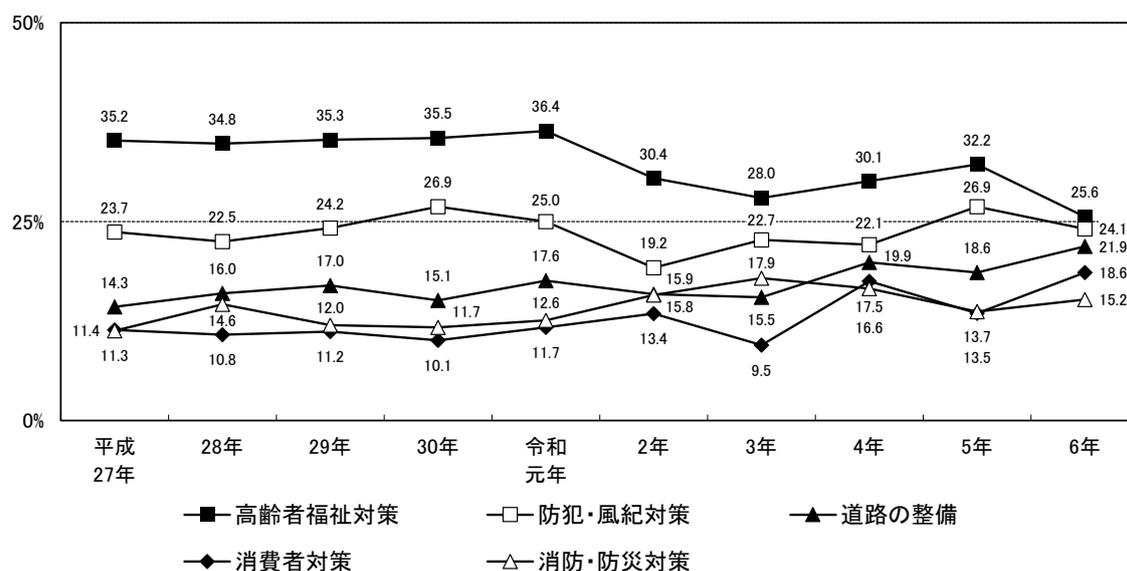


上位5項目について平成27年度からの順位変動をみると、今年度1位の「高齢者福祉対策」と、2位の「防犯・風紀対策」の順位に変動はみられない。3位の「道路の整備」は平成27年度から常に上位5位に入っている。4位の「消費者対策」は、昨年度は6位だったが令和4年度から上位に入っている。5位の「消防・防災対策」は令和2年度から上位5位に入っている。

表3 市への要望 経年推移(上位5位)

	n	1位	2位	3位	4位	5位
令和6年度	821	高齢者福祉対策 25.6%	防犯・風紀対策 24.1%	道路の整備 21.9%	消費者対策 18.6%	消防・防災対策 15.2%
5年	914	高齢者福祉対策 32.2%	防犯・風紀対策 26.9%	道路の整備 18.6%	公園・緑地の整備 13.9%	消防・防災対策 13.7%
4年	845	高齢者福祉対策 30.1%	防犯・風紀対策 22.1%	道路の整備 19.9%	消費者対策 17.5%	消防・防災対策 16.6%
3年	845	高齢者福祉対策 28.0%	防犯・風紀対策 22.7%	市民の健康管理対策 18.0%	消防・防災対策 17.9%	道路の整備 15.5%
2年	900	高齢者福祉対策 30.4%	防犯・風紀対策 19.2%	市民の健康管理対策 18.0%	道路の整備 15.9%	消防・防災対策 15.8%
元年	992	高齢者福祉対策 36.4%	防犯・風紀対策 25.0%	道路の整備 17.6%	交通安全対策 17.1%	市民の健康管理対策 16.3%
平成30年度	1021	高齢者福祉対策 35.5%	防犯・風紀対策 26.9%	市民の健康管理対策 17.8%	学校施設の整備 15.3%	道路の整備/ 清掃・環境整備対策 15.1%
29年	1103	高齢者福祉対策 35.3%	防犯・風紀対策 24.2%	市民の健康管理対策 17.4%	道路の整備 17.0%	保育行政の充実 15.4%
28年	996	高齢者福祉対策 34.8%	防犯・風紀対策 22.5%	市民の健康管理対策 19.7%	保育行政の充実 18.6%	道路の整備 16.0%
27年	824	高齢者福祉対策 35.2%	防犯・風紀対策 23.7%	市民の健康管理対策 18.4%	清掃・環境整備対策 15.7%	道路の整備/ 保育行政の充実 14.3%

図12 市への要望 経年推移(上位5位)

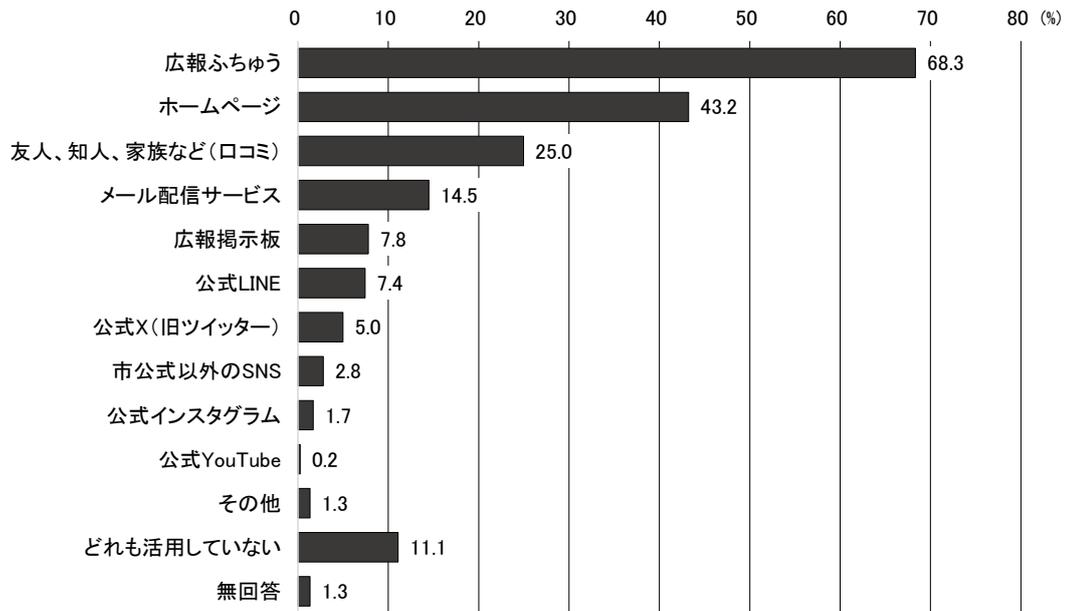


【行政情報の取得手段】について

■ 取得手段として活用しているものについて（n=821：複数回答）

市の行政情報の取得手段として活用しているものについて、「広報ふちゅう」（68.3%）が最も高く、7割近くとなっている。続いて、「ホームページ」（43.2%）、「友人、知人、家族など（口コミ）」（25.0%）の順で高くなっている。

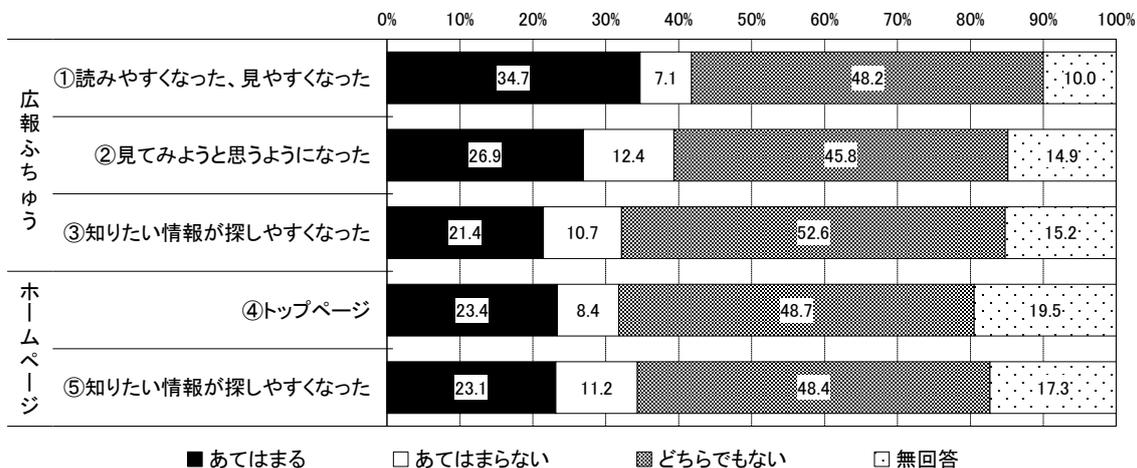
図 13 取得手段として活用しているものについて



■リニューアル後の広報ふちゅうとホームページについて (n=821)

リニューアル後の広報ふちゅうについては、「読みやすくなった、見やすくなった」(34.7%)、「見てみようと思うようになった」(26.9%)と高くなっている。

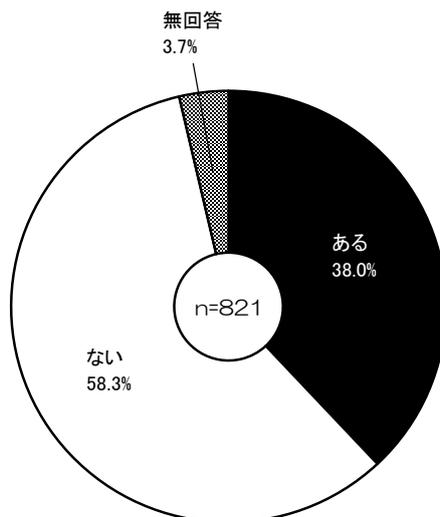
図 14 リニューアル後の広報ふちゅうとホームページについて



■広報ふちゅうの特集記事について (n=821)

広報ふちゅうの特集記事を読んだことがあるかについて、「ない」(58.3%)が高く、6割近くとなっており、「ある」(38.0%)は4割近くになっている。

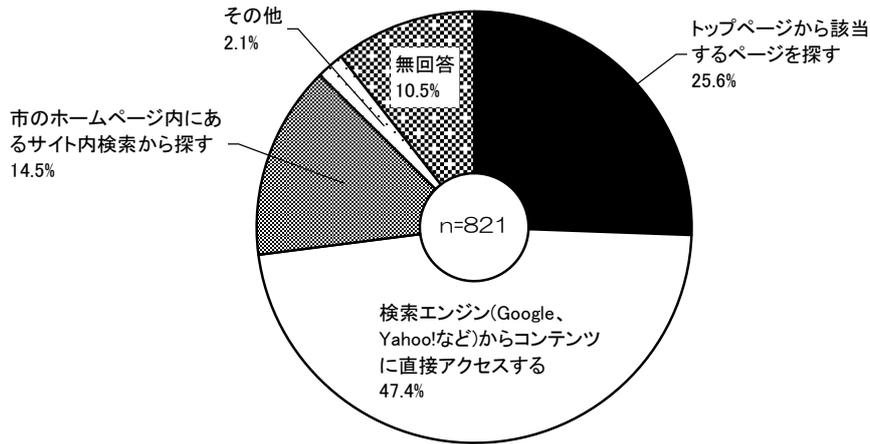
図 15 広報ふちゅうの特集記事を読んだことがある



■ホームページから知りたい情報を探す方法について (n=821)

ホームページから知りたい情報を探す方法について、「検索エンジン(Google、Yahoo!など)からコンテンツに直接アクセスする」(47.4%)が最も高く、5割近くとなっている。続いて、「トップページから該当するページを探す」(25.6%)、「市のホームページ内にあるサイト内検索から探す」(14.5%)となっている。

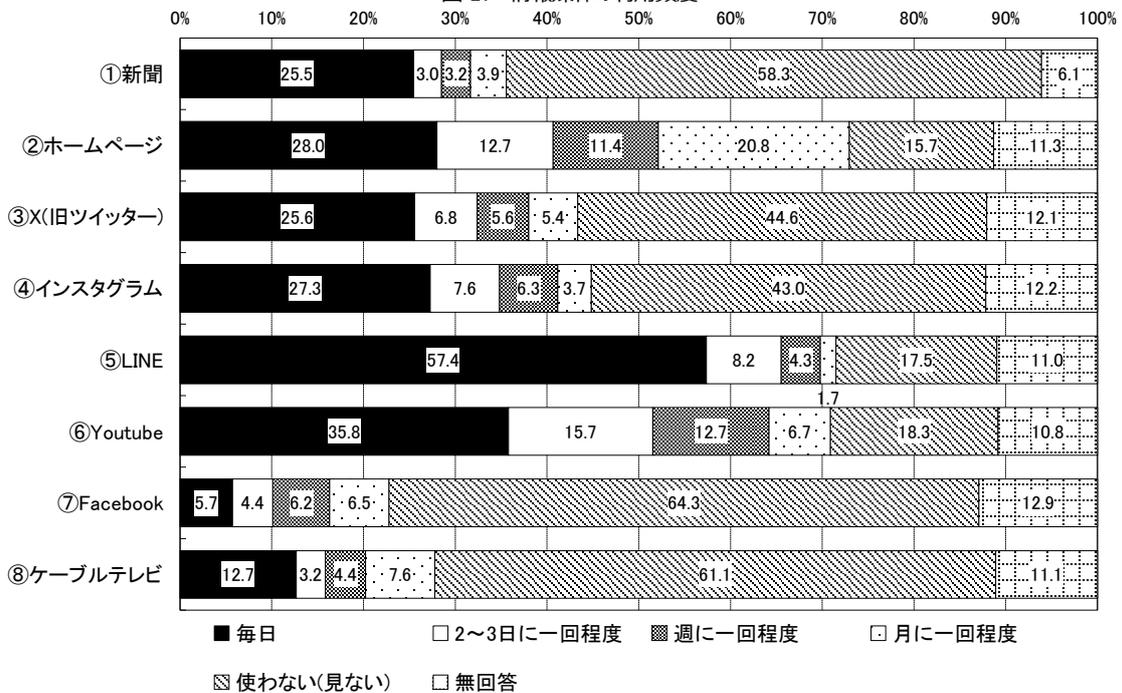
図 16 ホームページから知りたい情報を探す方法について



■情報媒体の利用頻度について (n=821)

利用頻度の高い情報媒体は、「LINE」(57.4%)、「YouTube」(35.8%)、「ホームページ」(28.0%)の順で高くなっている。

図 17 情報媒体の利用頻度

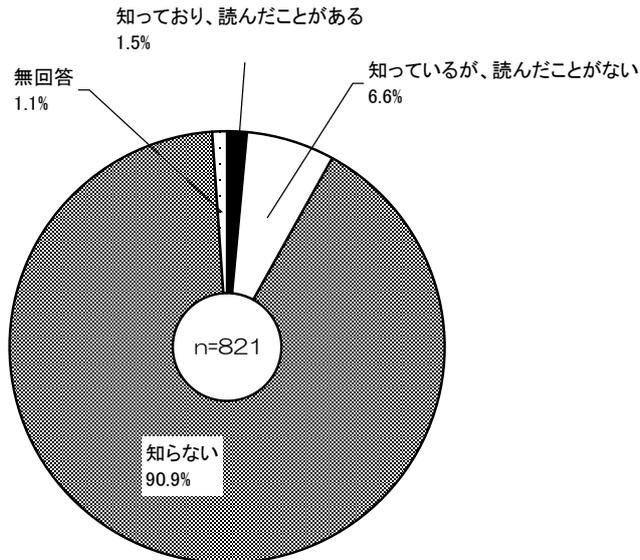


【生物多様性地域戦略】について

■「第2次生物多様性地域戦略」についての認知度 (n=821)

「第2次生物多様性地域戦略」については、「知らない」(90.9%)が最も高く、9割を超えており、続いて、「知っているが、読んだことがない」(6.6%)、「知っており、読んだことがある」(1.5%)となっている。

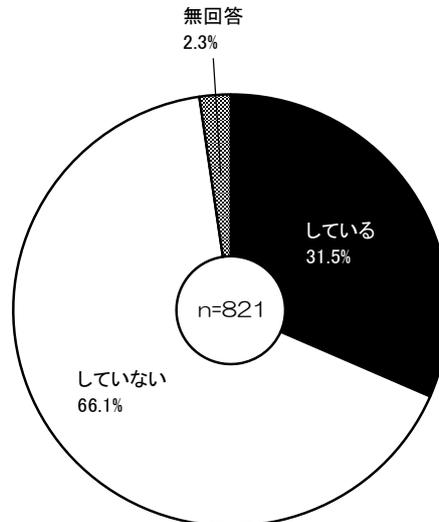
図 18 「第2次生物多様性地域戦略」についての認知度



■生物多様性や自然環境の保全につながる行動について (n=821)

生物多様性や自然環境の保全につながる行動については、「していない」(66.1%)が高く、6割半ばとなっており、「している」(31.5%)となっている。

図 19 生物多様性や自然環境の保全につながる行動について

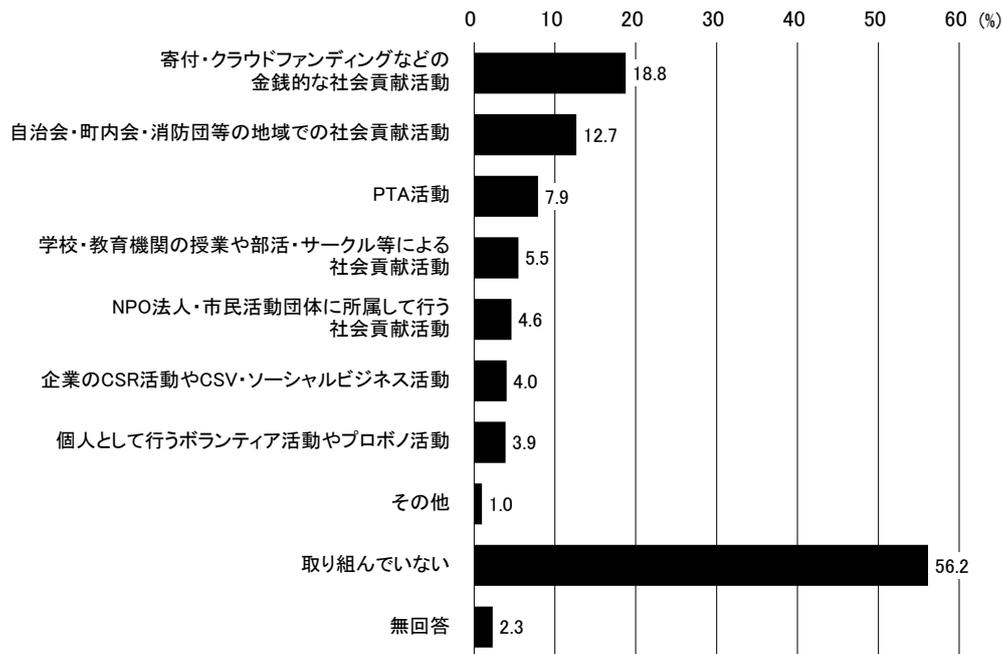


【市民協働の推進】について

■「社会貢献活動」への取組について（n=821：複数回答）

過去 1 年以内に、取り組んだ社会貢献活動については、「寄付・クラウドファンディングなどの金銭的な社会貢献活動」（18.8%）が高く、続いて、「自治会・町内会・消防団等の地域での社会貢献活動」（12.7%）、PTA 活動（7.9%）となっている。

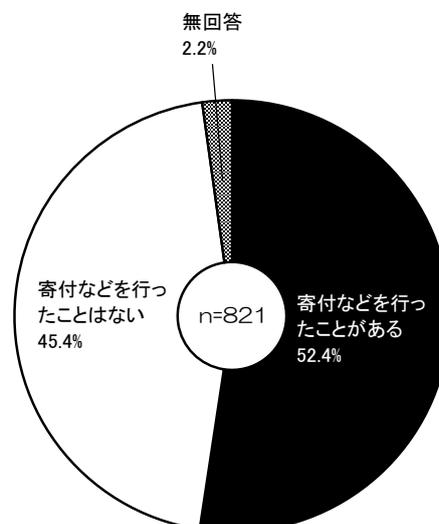
図 20 過去 1 年以内に取り組んだ社会貢献活動



■「金銭的な社会貢献活動」について（n=821）

金銭的な社会貢献活動については、「寄付などを行ったことがある」（52.4%）が高くなっており、「寄付などを行ったことはない」（45.4%）となっている。

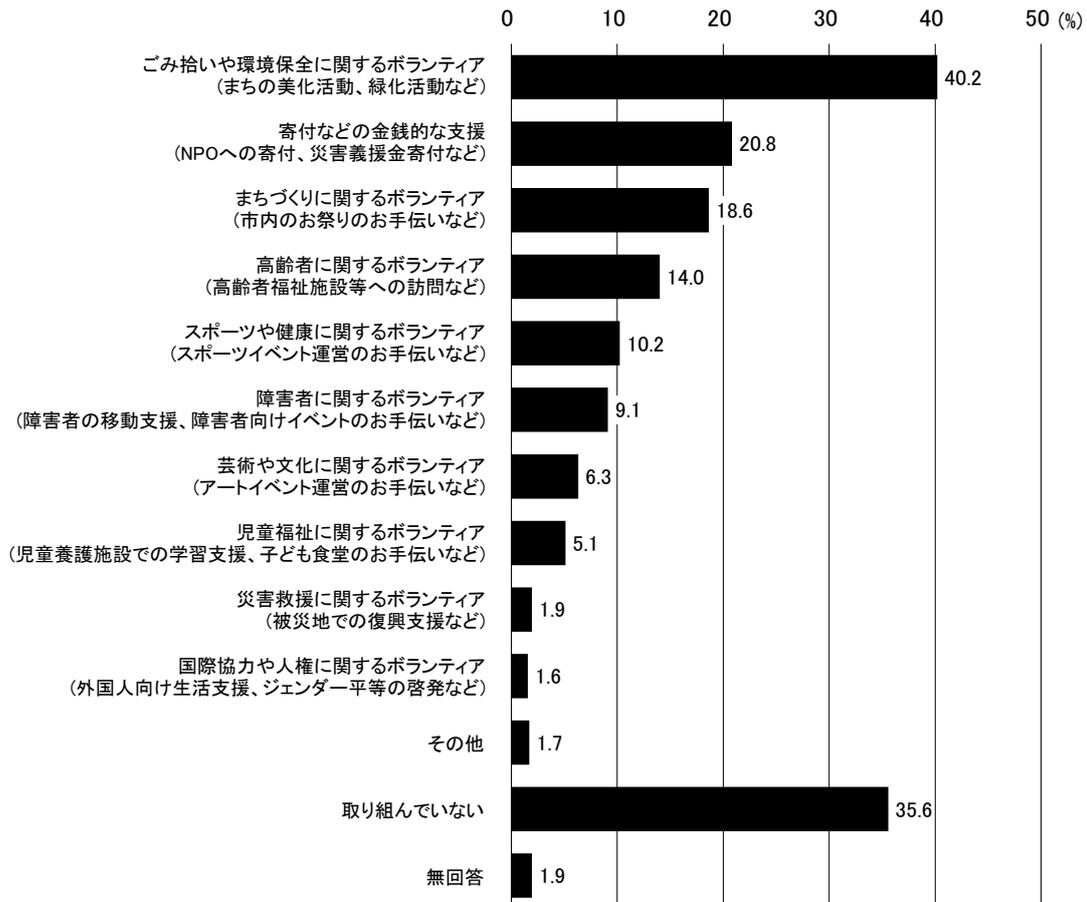
図 21 金銭的な社会貢献活動について



■子ども（18歳未満）の頃に取り組んだ「社会貢献活動」について (n=821：複数回答)

子ども（18歳未満）の頃に取り組んだ社会貢献活動については、「ごみ拾いや環境保全に関するボランティア(まちの美化活動、緑化活動など)」(40.2%)が最も高く、続いて「寄付などの金銭的な支援(NPOへの寄付、災害義援金寄付など)」(20.8%)となっている。

図 22 子ども（18歳未満）の頃に取り組んだ社会貢献活動



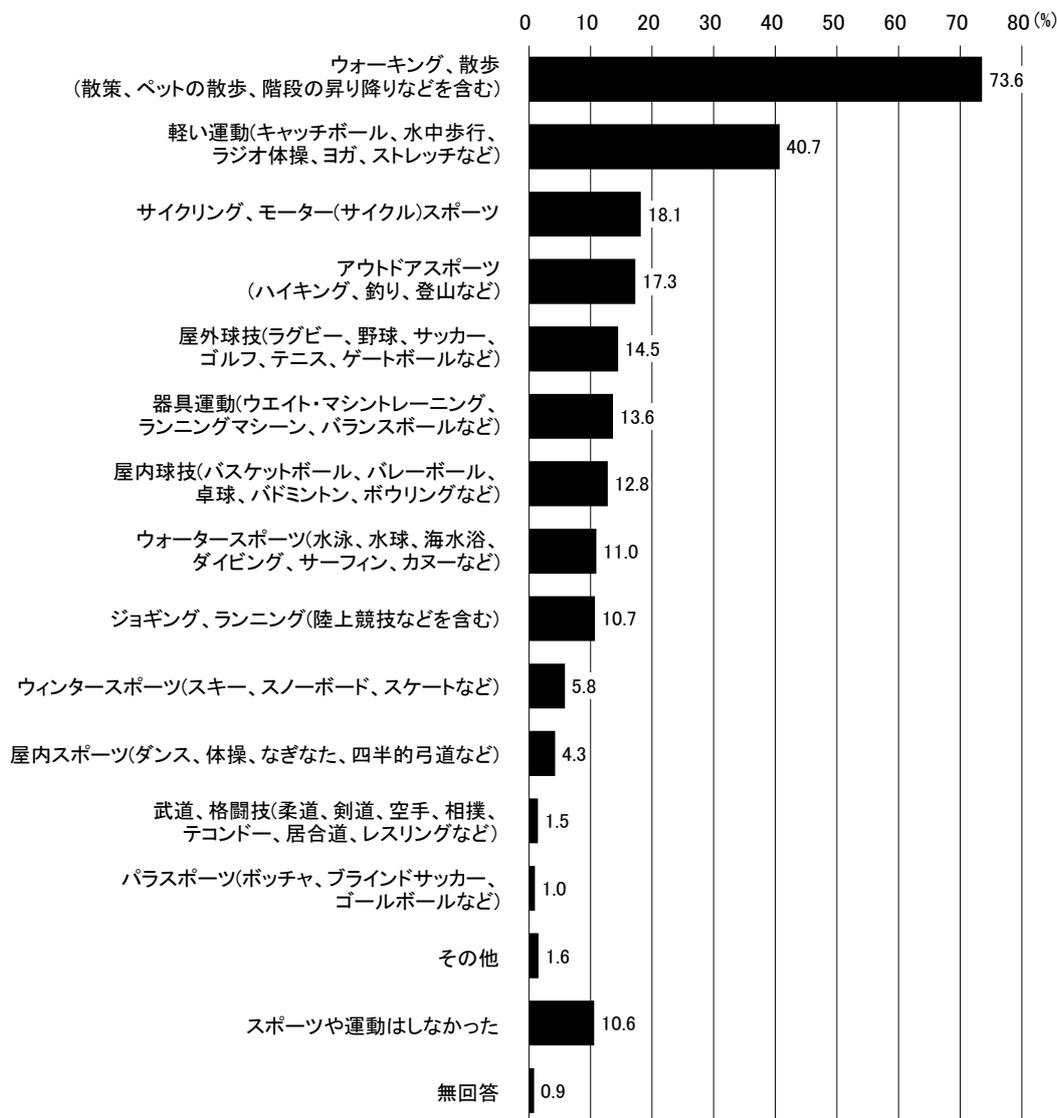
【スポーツ・運動】について

■ 1年間に行ったスポーツや運動について (n=821 : 複数回答)

1年間に行ったスポーツや運動については、「ウォーキング、散歩(散策、ペットの散歩、階段の昇り降りなどを含む)」(73.6%)が最も高く、7割を超えている。続いて、「軽い運動(キャッチボール、水中歩行、ラジオ体操、ヨガ、ストレッチなど)」(40.7%)、「サイクリング、モーター(サイクル)スポーツ」(18.1%)、「アウトドアスポーツ(ハイキング、釣り、登山など)」(17.3%)、「屋外球技(ラグビー、野球、サッカー、ゴルフ、テニス、ゲートボールなど)」(14.5%)の順となっている。

なお、1年間に行ったスポーツや運動の頻度が「1週間に1回以上」は58.8%となっている。

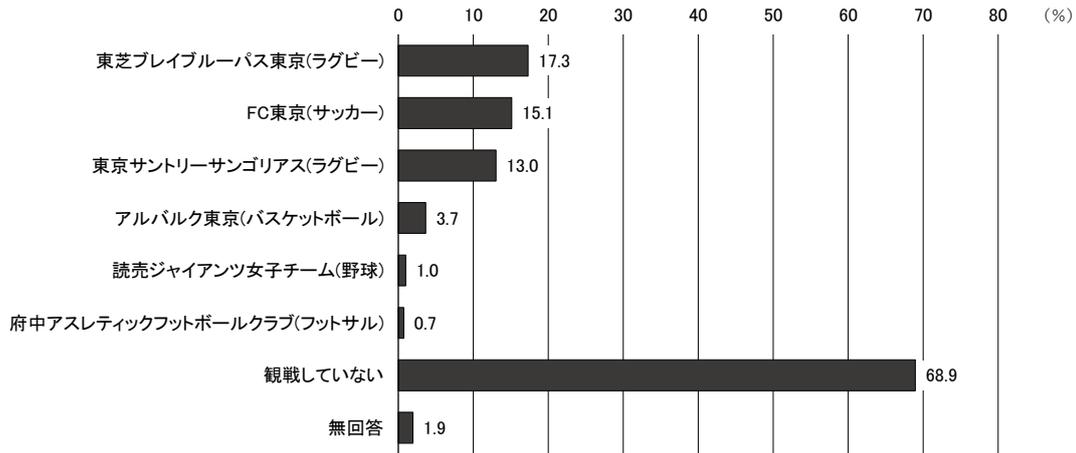
図 23



■ 1年間で観戦したことがある府中市を拠点に活動するトップチームについて (n=821：複数回答)

この1年間で観戦(TVやインターネット等での観戦、練習観戦も含む)したことがある府中市を拠点に活動するトップチームについては、「東芝レイブルース東京(ラグビー)」(17.3%)が最も高く、続いて、「FC東京(サッカー)」(15.1%)、「東京サントリーサンゴリアス(ラグビー)」(13.0%)の順となっている。

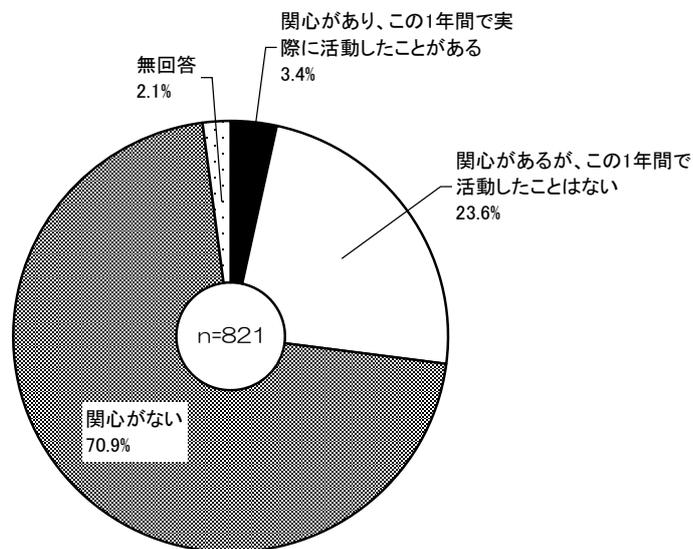
図 24 1年間で観戦したトップチームの試合観戦



■ スポーツに関するボランティア活動への関心度 (n=821)

スポーツに関するボランティア活動におけるあなたの考えと活動状況については、「関心がない」(70.9%)が最も高く、7割を超えている。続いて、「関心があるが、この1年間で活動したことはない」(23.6%)、「関心があり、この1年間で実際に活動したことがある」(3.4%)となっている。

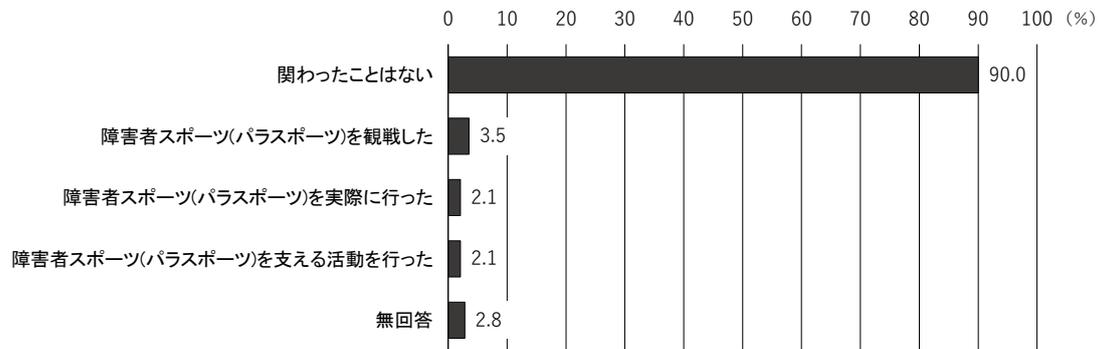
図 25 スポーツに関するボランティア活動への関心度



■ 障害者スポーツ(パラスポーツ)との関わりについて (n=821 : 複数回答)

障害者スポーツ(パラスポーツ)に関わったことはあるかについては、「関わったことはない」(90.0%)が最も高く、9割となっている。続いて、「障害者スポーツ(パラスポーツ)を観戦した」(3.5%)となっている。

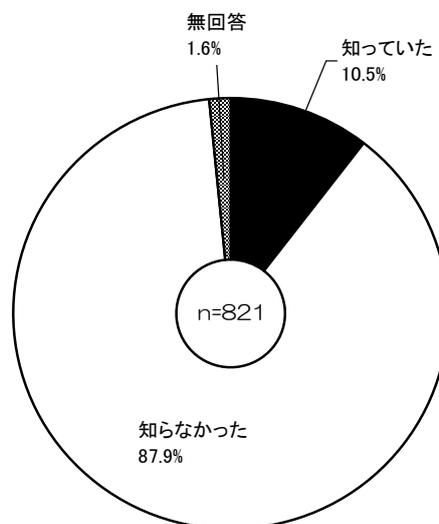
図 26 障害者スポーツ(パラスポーツ)との関わり



■ 郷土の森総合体育館移転予定の認知度 (n=821)

郷土の森総合体育館が、移転予定であることを知っていたかについては、「知らなかった」(87.9%)が高くなっており、「知っていた」(10.5%)となっている。

図 27 郷土の森総合体育館移転予定の認知度

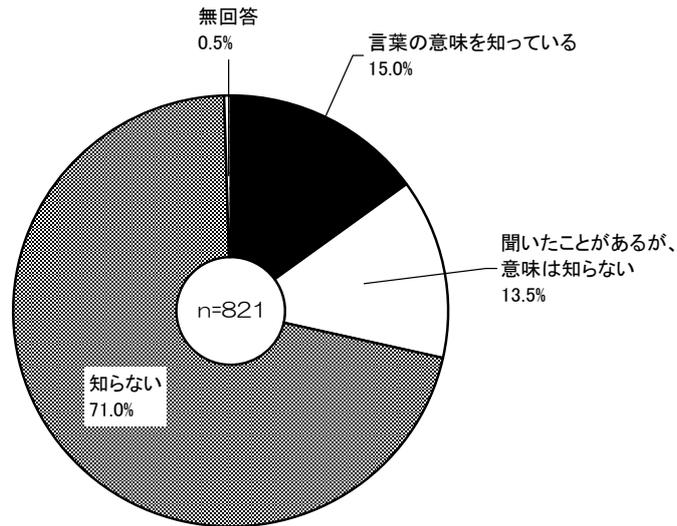


【生涯学習の取組】について

■「学び返し」という言葉の認知度 (n=821)

「学び返し」という言葉を知っているかについては、「知らない」(71.0%)が最も高く、続いて、「言葉の意味を知っている」(15.0%)、「聞いたことがあるが、意味は知らない」(13.5%)となっている。

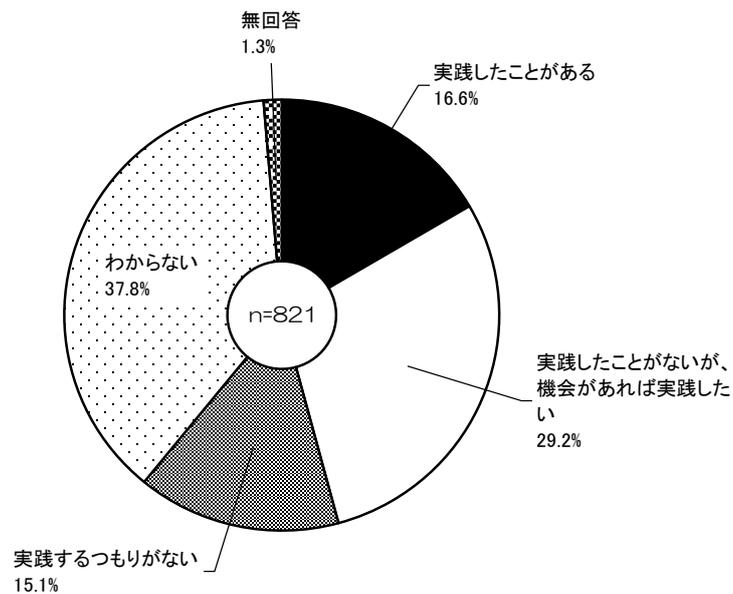
図 28 「学び返し」という言葉の認知度



■「学び返し」を実践したことがあるかについて (n=821)

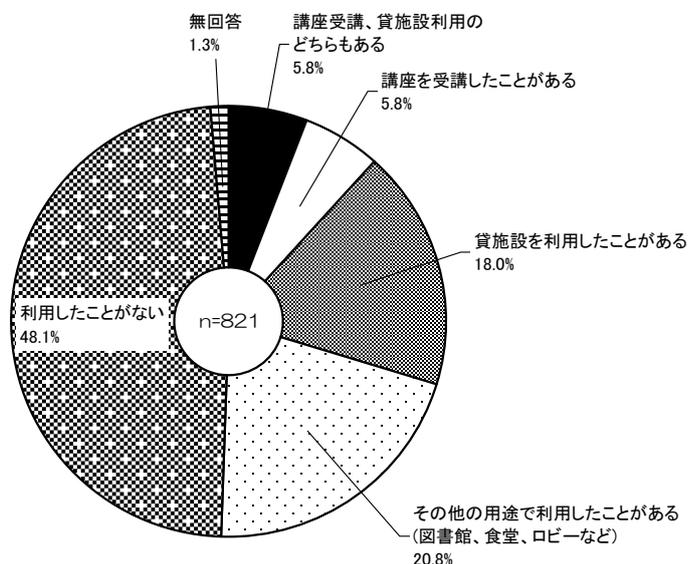
「学び返し」を実践したことがあるかについては、「わからない」(37.8%)が最も高く、「実践したことがないが、機会があれば実践したい」(29.2%)、「実践したことがある」(16.6%)、「実践するつもりがない」(15.1%)の順で高くなっている。

図 29 「学び返し」を実践したことがあるか



生涯学習センターを利用したことがあるかについては、「利用したことがない」（48.1%）が最も高く、続いて「その他の用途で利用したことがある(図書館、食堂、ロビーなど）」（20.8%）、「貸施設を利用したことがある」（18.0%）となっている。

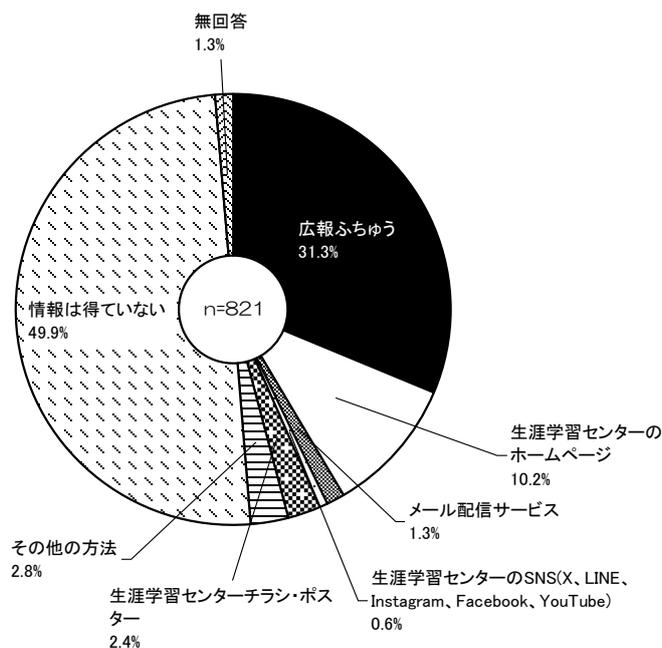
図 30 生涯学習センターの利用状況



■市の生涯学習に関する情報の取得手段について (n=821)

市の生涯学習に関する情報を主に何から得ているかについては、「情報は得ていない」（49.9%）が最も高く、続いて、「広報ふちゅう」（31.3%）、「生涯学習センターのホームページ」（10.2%）となっている。

図 31 市の生涯学習に関する情報の取得手段

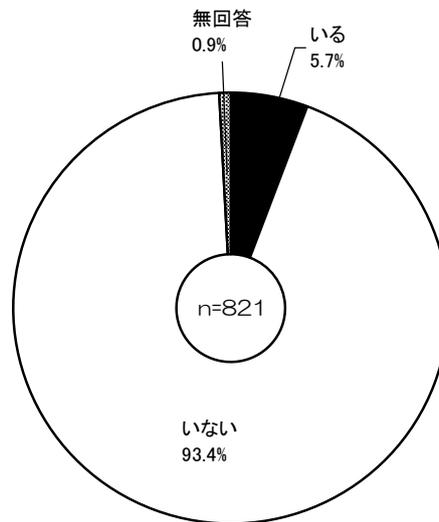


【ひきこもり】について

■ ひきこもりの状態にある身近な方について (n=821)

「ひきこもり」状態に当てはまる人がいるかについては、「いない」(93.4%)が9割半ば近くとなり、「いる」は、5.7%となっている。

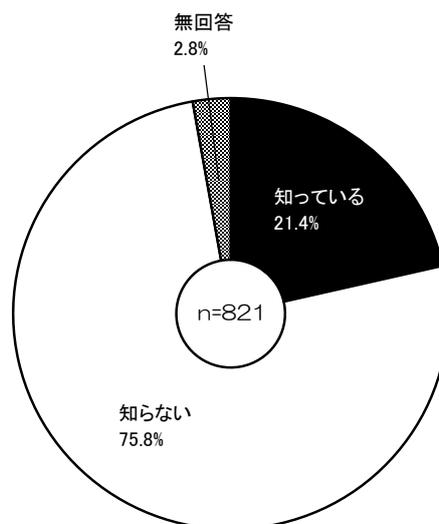
図 32 「ひきこもり」状態に当てはまる人がいるか



■ 福祉総合相談窓口の認知度 (n=821)

福祉総合相談窓口を知っているかについては、「知らない」(75.8%)が7割半ばとなり、「知っている」は21.4%となっている。

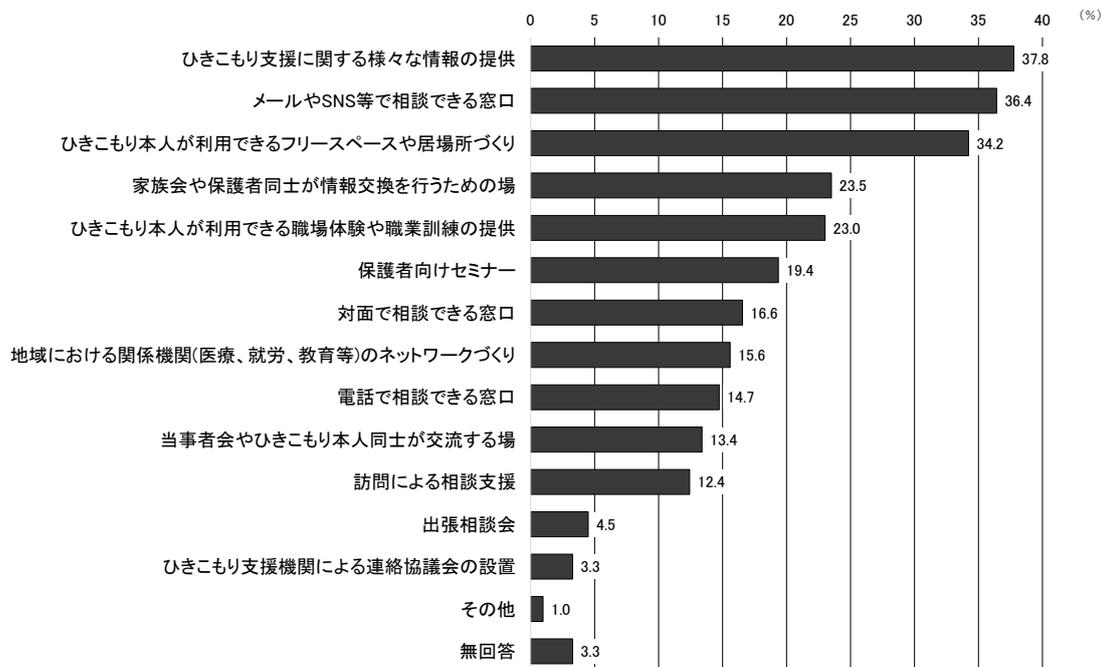
図 33 福祉総合相談窓口の認知度



■ひきこもりに悩む方への支援（n=821：複数回答）

ひきこもりにはどのような支援が必要かについては、「ひきこもり支援に関する様々な情報の提供」（37.8%）が最も高く、続いて、「メールやSNS等で相談できる窓口」（36.4%）、「ひきこもり本人が利用できるフリースペースや居場所づくり」（34.2%）となっている。

図 34 「ひきこもり」に必要な支援

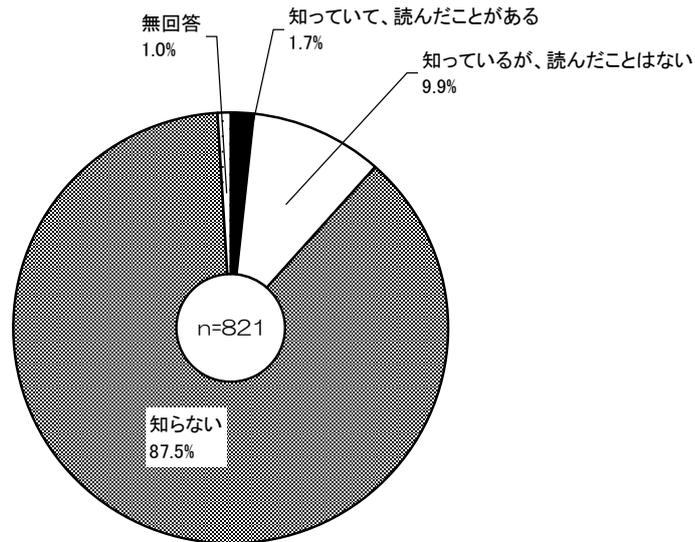


【インフラマネジメント】について

■「府中市インフラマネジメント計画(2018年度)」についての認知度 (n=821)

「府中市インフラマネジメント計画(2018年度)」があることを知っているかについては、「知らない」(87.5%)が最も高く、8割半ばを超えている。続いて、「知っているが、読んだことはない」(9.9%)、「知っている、読んだことがある」(1.7%)の順となっている。

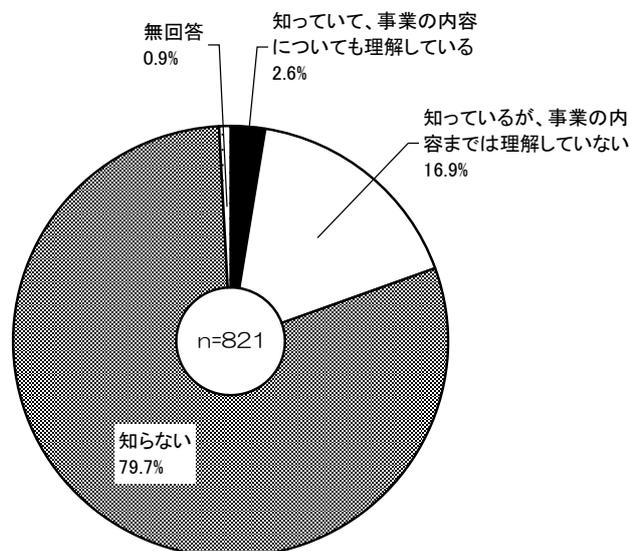
図 35 「府中市インフラマネジメント計画(2018年度)」についての認知度



■道路等包括管理事業の内容についての理解度 (n=821)

「道路等包括管理事業」の内容の理解については、「知らない」(79.7%)が最も高く、続いて、「知っているが、事業の内容までは理解していない」(16.9%)、「知っている、事業の内容についても理解している」(2.6%)の順となっている。

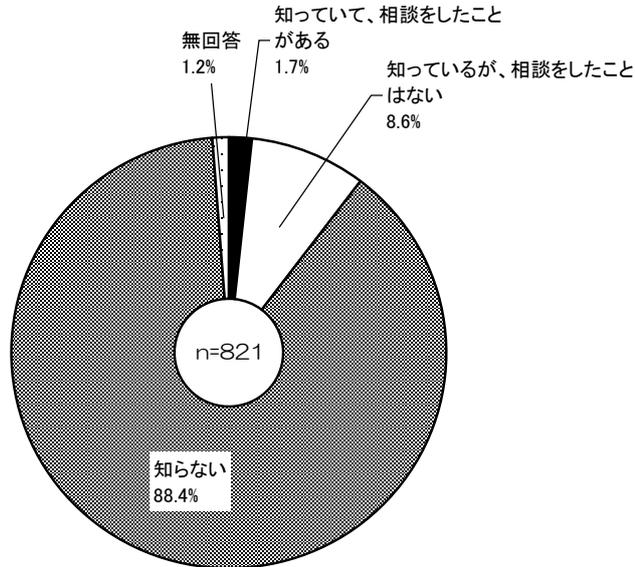
図 36 道路等包括管理事業の内容についての理解度



■ 府中市道路管理センターについての認知度 (n=821)

府中市道路管理センターについては、「知らない」(88.4%) が最も高く、続いて、「知っているが、相談をしたことはない」(8.6%)、「知っているが、相談をしたことがある」(1.7%) となっている。

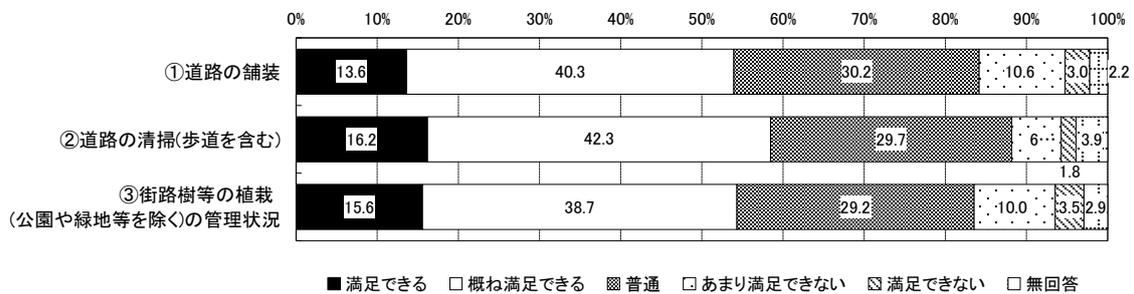
図 37 府中市道路管理センターについての認知度



■ 市が管理する道路等の管理状況の満足度 (n=821)

道路清掃の管理状況について、「満足できる」「概ね満足できる」を合わせた『満足と感じている』(58.5%)と高くなっている。続いて、街路樹等の植栽の管理状況について『満足と感じている』(54.3%)、道路舗装の管理状況について『満足と感じている』(53.9%) となっている。

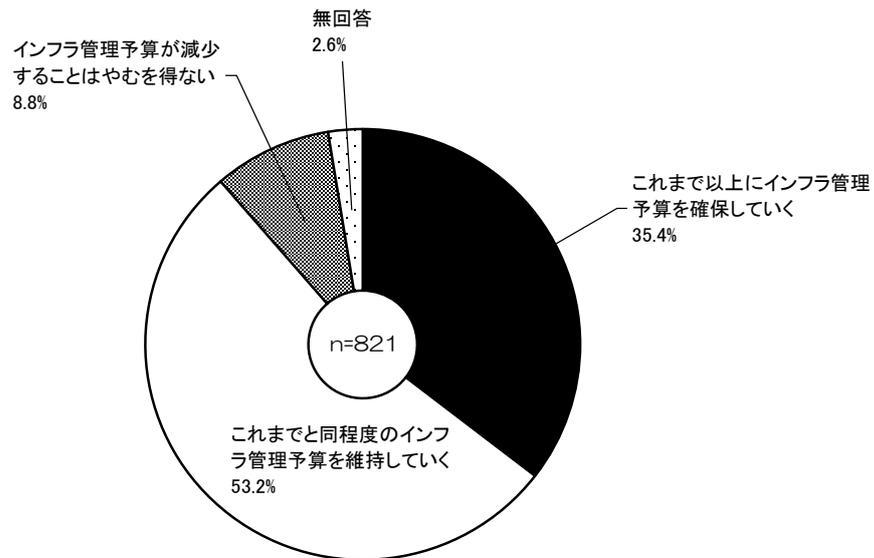
図 38 市が管理する道路等の管理状況の満足度



■ インフラ予算の考え方について (n=821)

インフラ管理予算の考え方については、「これまでと同程度のインフラ管理予算を維持していく」(53.2%) が最も高く、5割を超えている。続いて、「これまで以上にインフラ管理予算を確保していく」(35.4%)、「インフラ管理予算が減少することはやむを得ない」(8.8%) となっている。

図 39 インフラ予算の考え方について

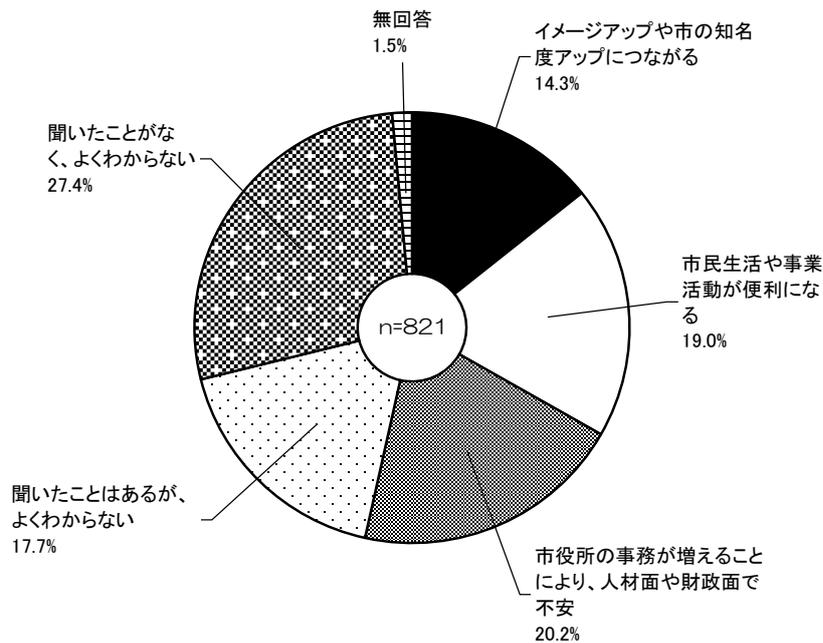


【中核市に関する関心度】について

■ 中核市のイメージについて (n=821)

中核市のイメージについては、「聞いたことがなく、よくわからない」(27.4%)が最も高く、続いて、「市役所の事務が増えることにより、人材面や財政面で不安」(20.2%)、「市民生活や事業活動が便利になる」(19.0%)となっている。

図 40 中核市のイメージ

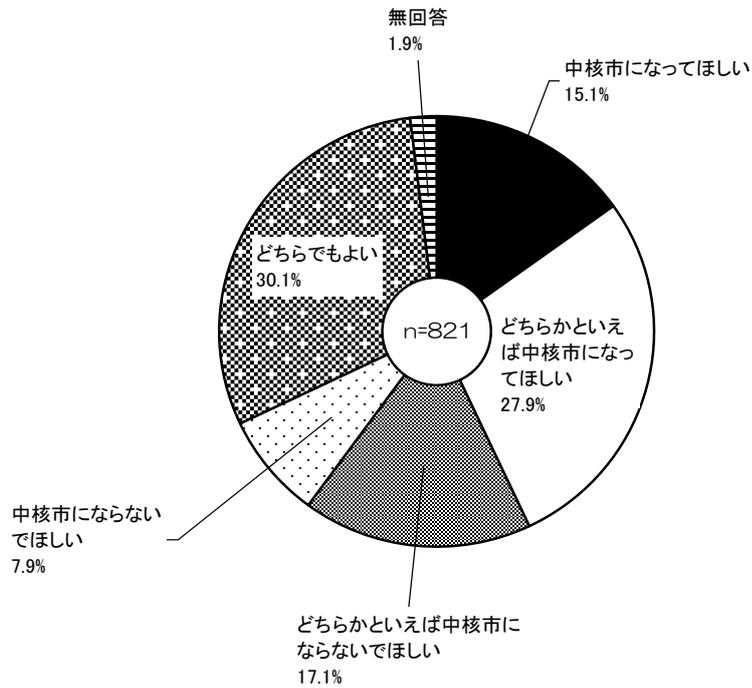


■ 府中市が中核市になってほしいと思うかについて (n=821)

中核市になってほしいと思うかについては、「中核市になってほしい」と「どちらかといえば中核市になってほしい」を合わせた『中核市になってほしいと思う』は、43.0%となっている。

「どちらかといえば中核市にならないでほしい」と「中核市にならないでほしい」を合わせた『中核市にならないでほしいと思う』は、25.0%となっている。

図 41 中核市になってほしいと思うか

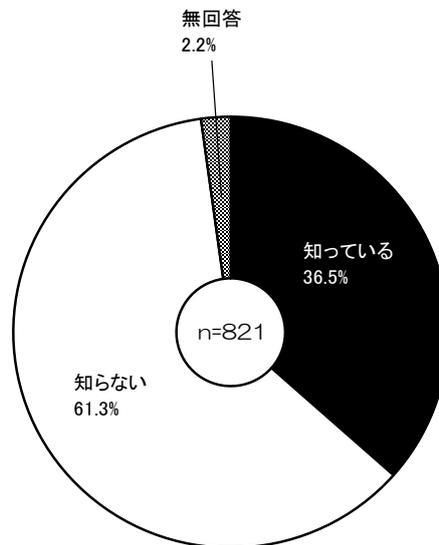


【障害者に対する差別・偏見】について

■ 障害者差別解消法についての認知度 (n=821)

「障害者差別解消法」の内容については、「知らない」(61.3%)が6割を超えており、「知っている」36.5%となっている。

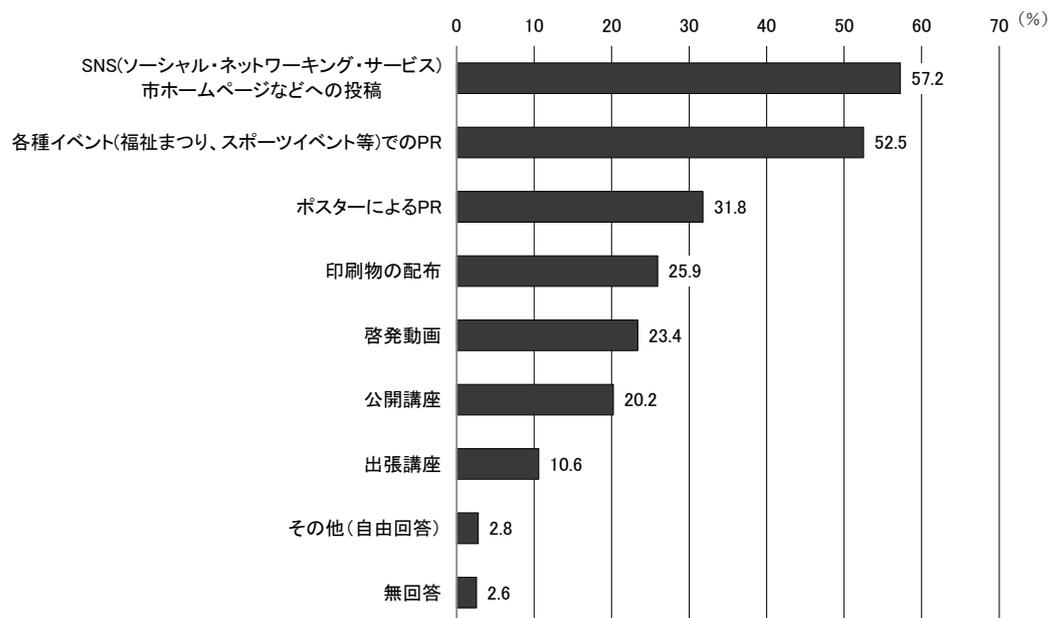
図 42 「障害者差別解消法」の認知度



■ 障害者差別の解消に向けた普及啓発の方法について (n=821 : 複数回答)

伝わりやすいと思う障害者差別の解消に向けた普及啓発については、「SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)、市ホームページなどへの投稿」(57.2%)が最も高く、続いて「各種イベント(福祉まつり、スポーツイベント等)でのPR」(52.5%)、「ポスターによるPR」(31.8%)の順で高くなっている。

図 43 伝わりやすいと思う障害者差別の解消に向けた普及啓発



第56回府中市市政世論調査（概要版）

令和6年9月

発行：府中市市民協働推進部広聴相談課

東京都府中市宮西町二丁目24番地

Tel 042-366-1711

実施：株式会社TDS

東京都府中市晴見町二丁目24番地の1

Tel 042-352-3330